



“ページ on ポート”  
なMIDIプロセッサ

# MIXReciepe

各ページ紹介

@SynthTAROU

Java+JNI(Win10)

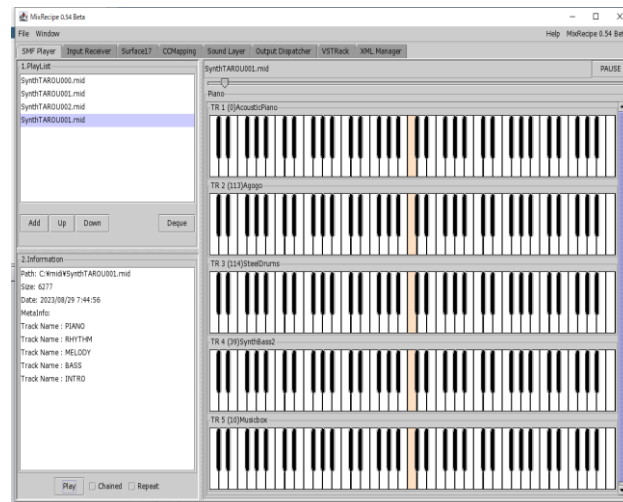
GNU GPLv3

# “ページonポート”

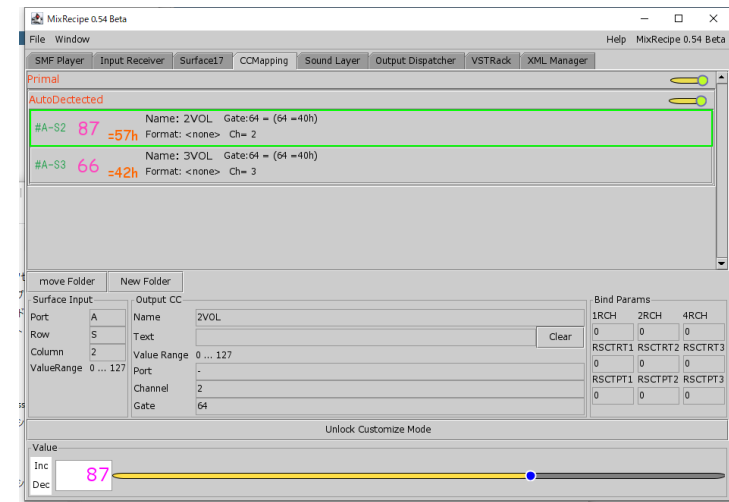
入力デバイスは、ポートにアサインされ、

直結されたページ（コンポーネント）が、ポートごとに処理を行い、

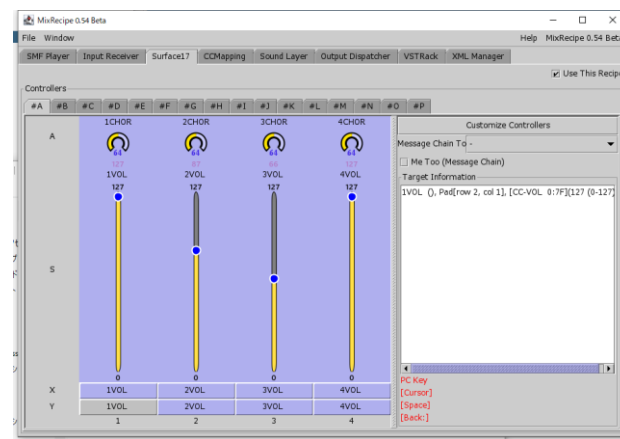
出力デバイスをポートにアサインします。



Any MIDI/SMF



CCMapping



Define Surface

# Page#1

## SMF Player

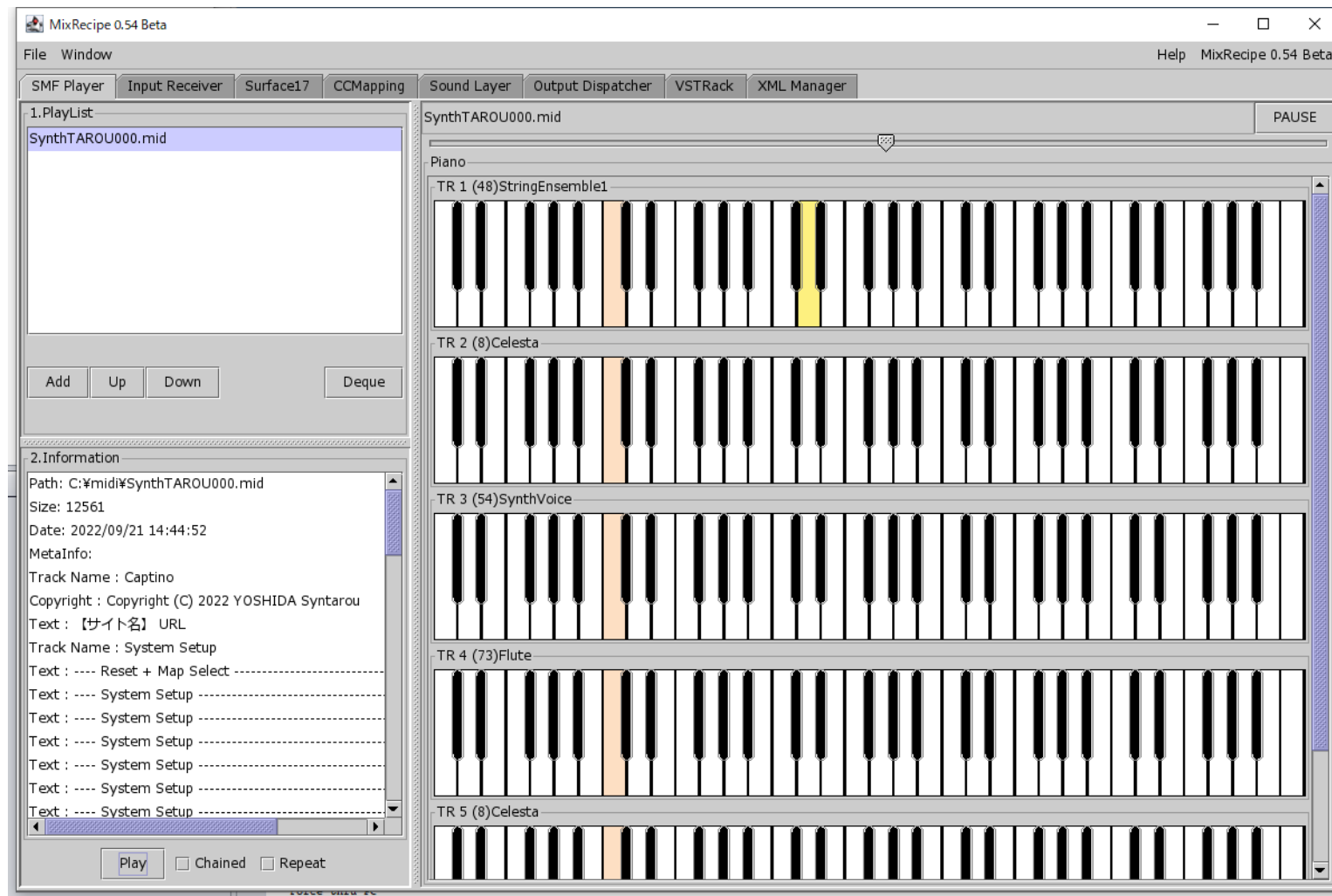
SMFファイルプレイヤーです。

プレイリストの曲を

ピアノを表示しながら

再生します

Chain、Repeatが設定できます



## Page#2

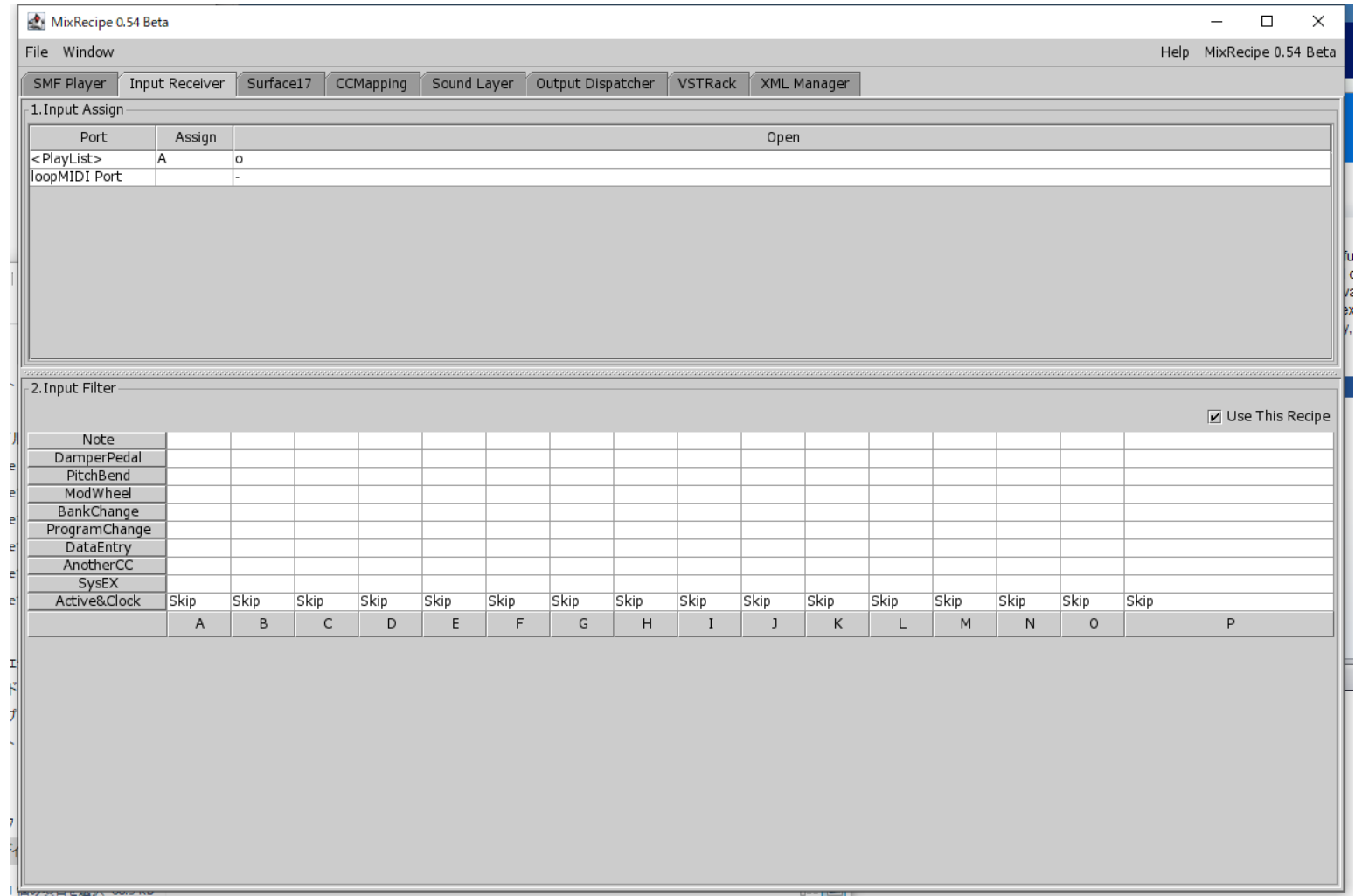
### Input Receiver

つながれたデバイスをポートに  
アサインして、処理させます。

UWPMidiもロードされていれば  
表示されます。BLEMIDIなど。

PlayListはAにデフォルトアサイン  
されます。

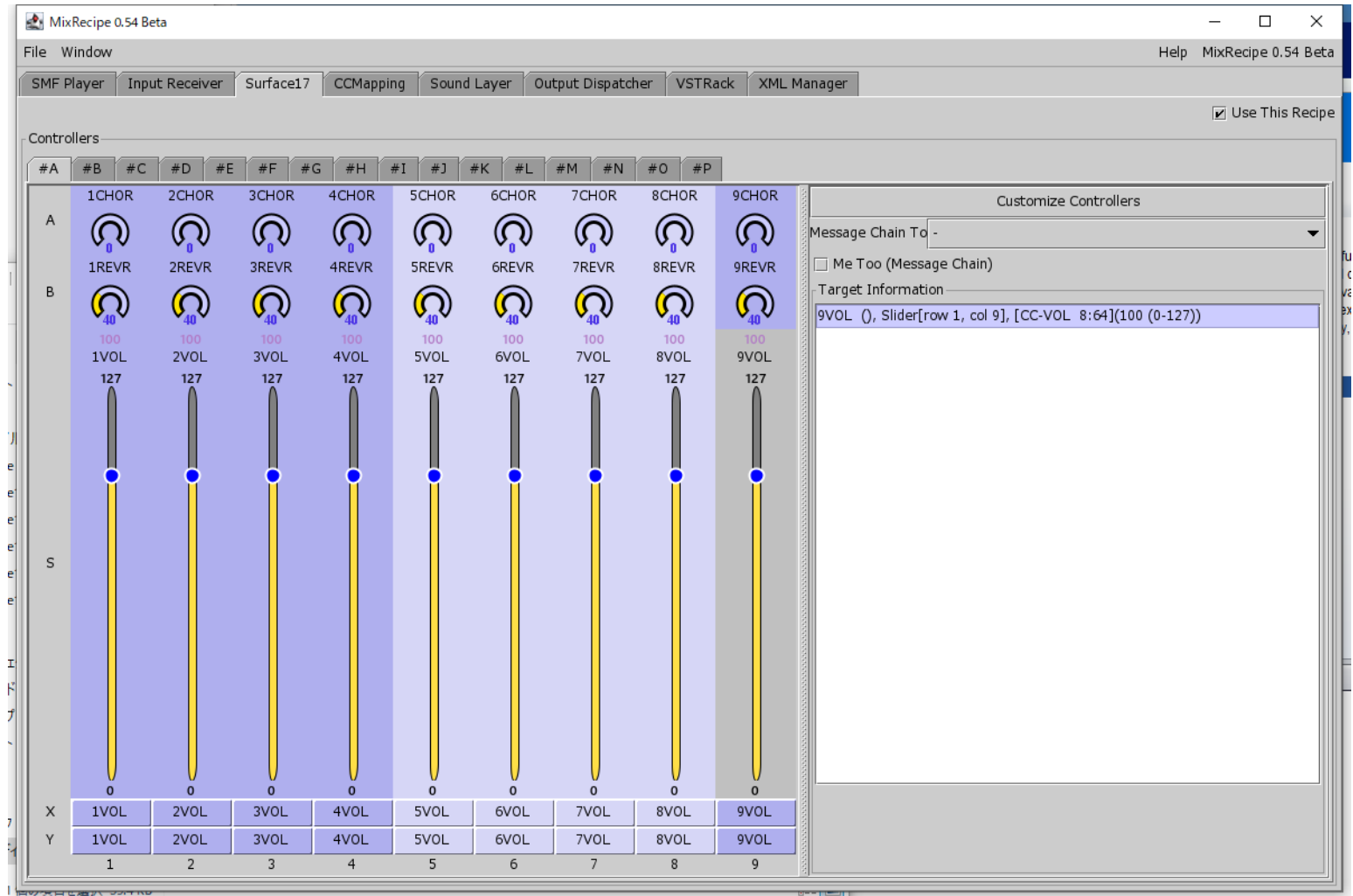
それぞれデバイスはA+B+Cなど複  
数にアサインもできます。



# Page#3 Surface

MIDIコンを、読み取らせます。

次ページのCCMappingでマッピングさせます。

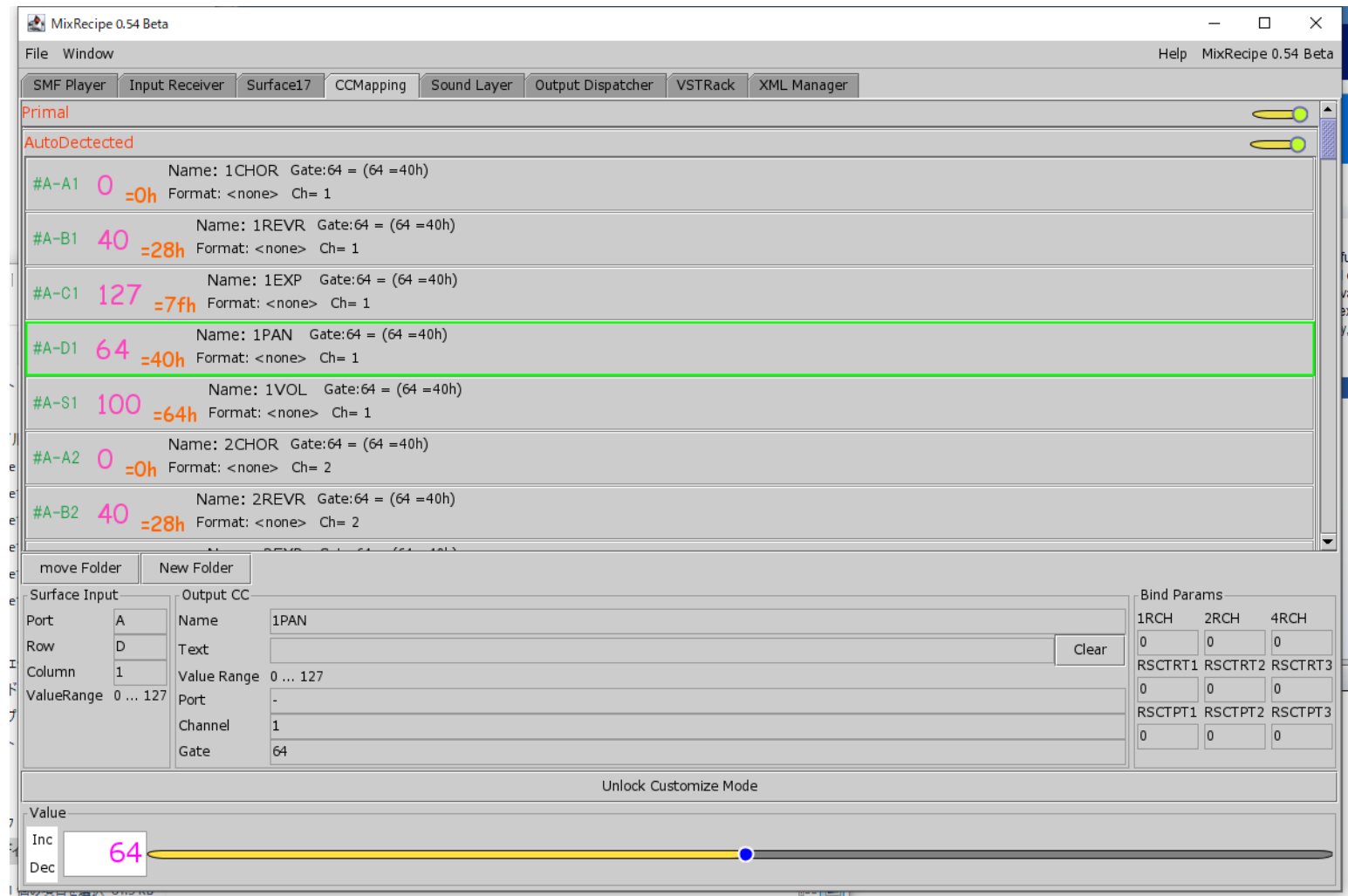


# Page#4 CCMapping

前ページのサーフェイスでの、  
値の変化をトリガーに、

CC,SysEXなどにマッピングしま  
す。

たかばーさんのDominoで使われ  
ている定義ファイルを、最後の  
ページで読み取る必要があります。



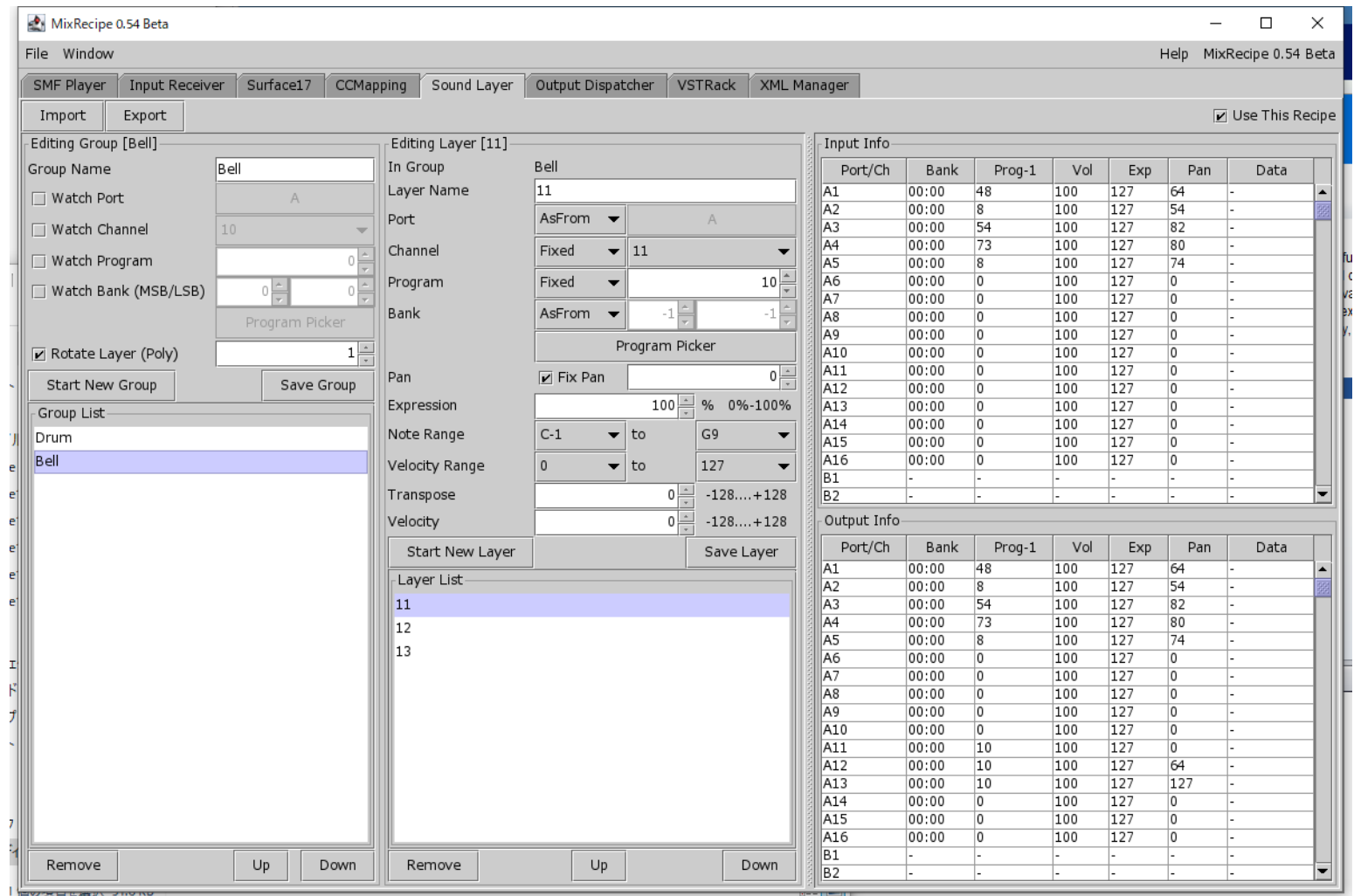
# Page#5

## Sound Layer

プログラム、チャンネル、ポートなどの、Watchされた信号を

別のプログラム、チャンネル、ポートにアサインします。

アサインするとき、対象とするVelocityやNoteRangeでも、レイヤーを設定できます。



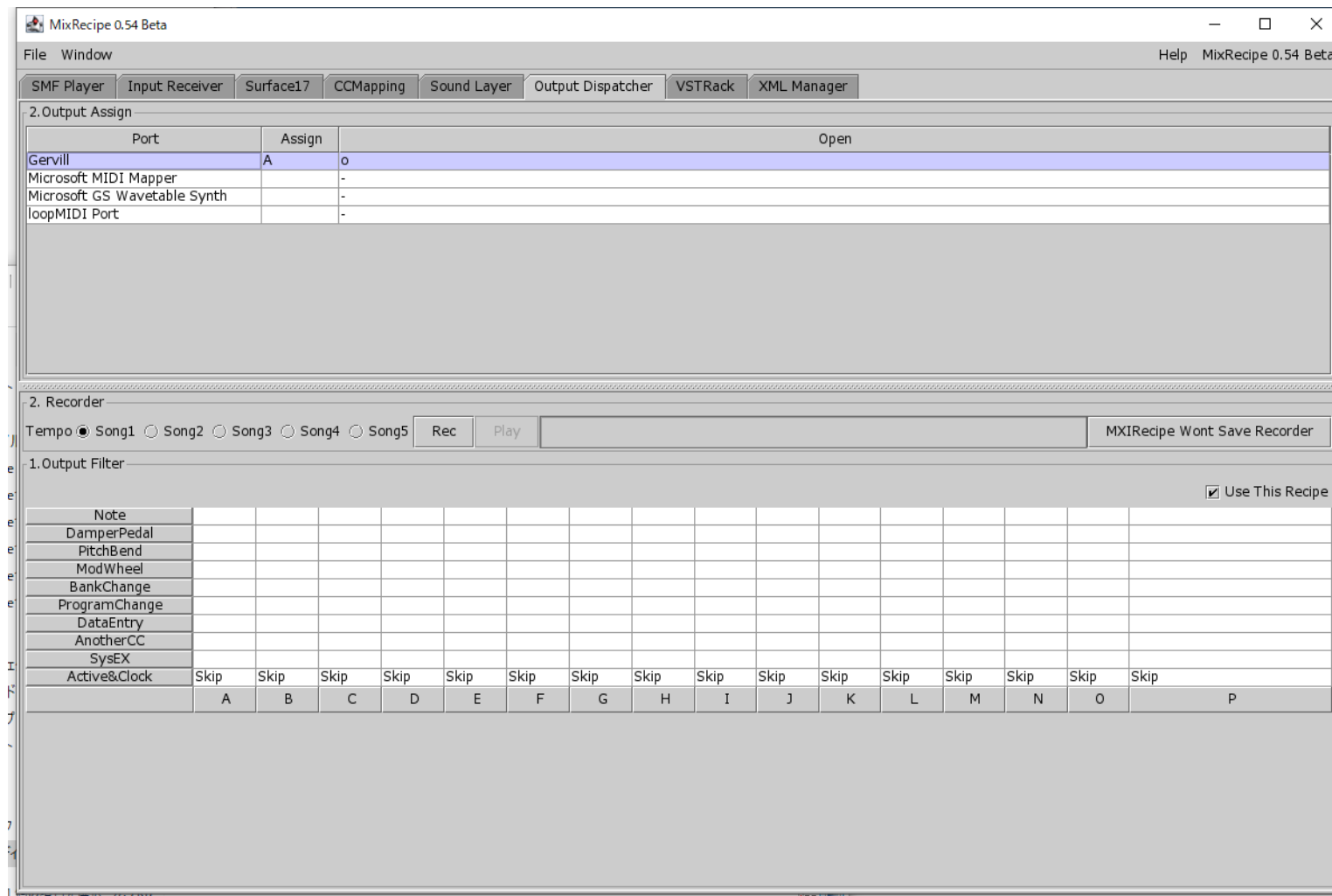
# Page#6

## OutputDispatcher

出力可能なデバイスに対して、  
ポートのシグナルを出力します。

VSTiもロードされていれば、こ  
こに表示されます。

UWPMidiもロードされていれば  
表示されます。BLEMIDIなど。





# Page#7

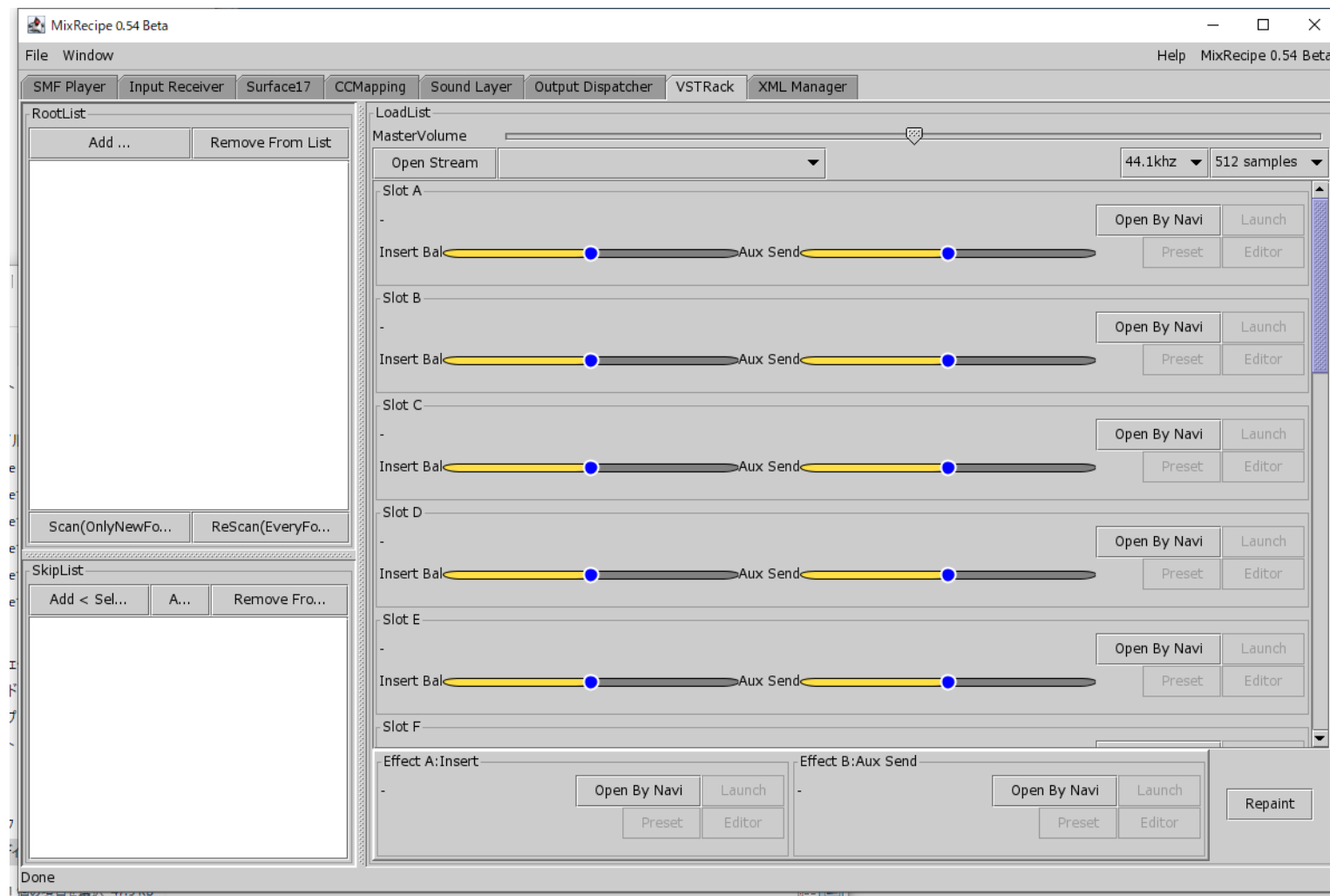
## VST Rack

VSTをDLLを使ってロードします。

PortAudioのASIOが不安定だと落ちます。

VSTが不安定な場合、そのVSTアンロードしようと試みます。

画面UIを閉じると、再度オープンできないとかいろいろバグがありますが、一度Closeすればだいたい使えます。

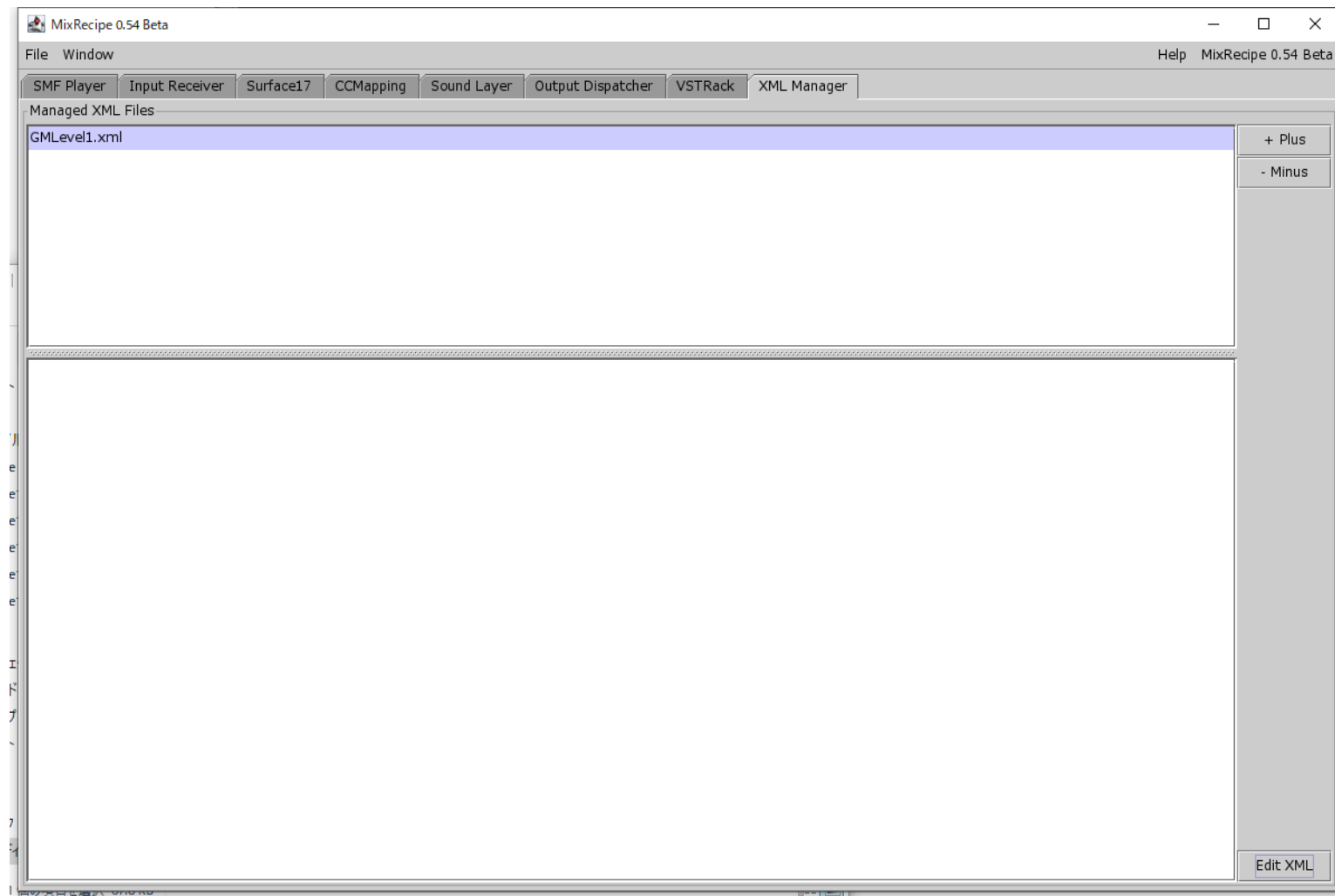


# Page#8

## XML Manager

DominoのXMLファイルをロードして、表示するところです。

サブ画面の編集機能は、一部だけ実装されています。





やりたいこと

# MIXReciepe

やれること紹介

@SynthTAROU

Java+JNI(Win10)

GNU GPLv3

# How TO

やりたいこと順番に、機能の設定する説明を並べていき舞うs。